

2024 年度 学校法人 三幸学園 仙台スイーツ&カフェ専門学校 自己評価ならびに学校関係者評価報告書

自己評価報告責任者：副校長 佐々木 成史

学校関係者評価報告責任者：学校関係者評価委員会委員長 渡辺 靖水

1. 学校の教育目標

学園のビジョン「人を活かし、日本をそして世界を明るく元気にする」、ミッション「人を活かし、困難を希望に変える」のもと、製菓・調理分野の学校として「美味しくてかわいいスイーツとカフェを通じて日本を明るく元気にする」というビジョンを掲げている。

また「技能と心の調和」を教育理念とし「素直な心、感謝の気持ち、高い意欲を持ち続け、自ら考え、自ら行動することで、社会に貢献する人材」、製菓・調理分野として「美味しくてかわいいスイーツとカフェを通じて、時間と空間をトータルプロデュースし、人の心を豊かにする人材育成する(全ては、お客様の笑顔とありがとうのために)」を育成する人物像とし、専門学校として社会・業界に求められる人材の育成を進めている。

2. 前年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

① 前年度重点施策振り返り

- ・働く目的を理解し社会人に向けての成長を段階的に高める指導の組み立てを実施
- ・挨拶や返事、リアクションについて後から修正していくことが難しかった
- ・退学防止の為、実習動画や長期休み中の SNS 発信などの実施
- ・学生アンケートにて三幸学園内スイーツ分野の学校の中で学校満足度は最も高かったが、1 年生の退学者が昨年より 2.62% 高く退学防止にはつながらなかった
- ・2025 年度は入学前に全員と面談を実施し自分に合った学び方を選択できるよう、学び方について説明した上でクラス分けを行う事で自分に合った学び方を納得して選べるようになった

② 学校関係者評価委員会コメント

- ・渡辺委員：卒業する前に多くの失敗をしていくことで、より考える機会が増える。現場に入る前に何故失敗したのか、どうしたら上手くいくのか等時間をとって教える事が、考える力や想像力を付けるためにも必要。
- ・千葉委員：在校中に、他の人に教えるという経験が、1つの学びをより深くしてくれ、現場での後輩育成に繋がった。
- ・松浦委員：今の時代に合った人材育成をしなければいけない。昔からの考えに縛られ「ありがた」ばかりに固執することなく、柔軟な姿勢がないと若い力が県外に流出してしまう原因にもなる。
- ・渡辺委員：物価の高騰で家賃も上がっていることから、なかなか新店舗が出せずに空いている路面店などもある。少し路地に入ると比較的入りやすいビルなどもある。飲食業の発展のためにも離職を防ぎたい。また、学校との繋がりを強化して、Uターンをした卒業生ともつながる事が出来るといいのではと考えている。

3.評価項目の達成及び取組状況

(1)教育理念・目標

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
学校の理念・目的・育成人材像は定められているか（専門分野の特性が明確になっているか）	4
社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	3
学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが生徒・保護者等に周知されているか	4
各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	4

① 課題

- ・アクティブラーニングを取り入れた教員の授業力向上
- ・学生に考えさせる能力を身に付けるためのアクティブラーニングを取り入れた授業展開の実施を多く取り入れる

② 今後の改善方策

- ・学生の求める学び方に対して、授業の組み立て方や時間配分などの検討
- ・学生の学び方としてシンキングを選んだ学生へ、成長実感を実感するような授業の展開をしていく事

③ 特記事項

- ・特になし

④ 学校関係者評価委員会コメント

- ・齋藤委員:コミュニケーションを取るのが苦手な生徒も増えていると思うが、経験する機会を多く学生に設けることで、改善できるのではないかな。
- ・千葉委員:在学中は行事やオープンキャンパススタッフ等を通して自分に自信がついた。行事や縦割り授業などはより考えるきっかけになるのではないかな。
- ・渡辺委員:現場では、より考えるという事が求められる。失敗したとしても、教えてもらっていないからではなく、どうしてなのか原因が何かを想像する事が次につながる。
- ・佐々木さん:社会人に必要な力である考える力をつけるために、入学前に学び方の選択をしてもらった。後期に向けては相談があった生徒などへは対応していくようにし、卒業までに自立を促していく。

(2)学校運営

【評価項目】（評価＝適切：4、ほぼ適切：3、やや不適切：2、不適切：1）	評価
目的等に沿った運営方針が策定されているか	4
事業計画に沿った運営方針が策定されているか	3
運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	3
人事、給与に関する制度は整備されているか	4
教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	3
業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	4
教育活動に関する情報公開が適切になされているか	4
情報システム化等による業務の効率化が図られているか	4

① 課題

- ・教員や学生へ迅速に伝達できるようにシステムの効率化を引き続き実施
- ・教員一人一人の授業が多い中で、学生・保護者への情報の発信や業務効率を上げる事

② 今後の改善方策

- ・学生伝達のツールである Google classroom の活用の継続・foam でのアンケートやテストの実施の継続
- ・保護者様への情報発信ツールとしてスクルの導入

③ 特記事項

- ・特になし

④ 学校関係者評価委員会コメント

- ・渡辺委員：会社でも社長とスタッフの間をつなげられる人が重要で必要。学校でも教員との間に先輩や友人が相談役でいれば、自分の居場所ができ退学防止につながる。
- ・松浦委員：コンプライアンスなどは特に注意している。ホテル業界では、以前であればお客様の求める時間などもあり、残業する事が多かったが、現在は職場の環境も時代に合わせ改善してきている。
現状としても残業時間やハラスメント等は特に気を付けている。言葉のかけ方や誰が何を言うのかという事も考えてあげることで、コミュニケーションが取れより情報の伝達も上手いく。
- ・千葉委員：情報を伝える上では、コミュニケーションが大切。後輩育成においても相手の考えを引き出すために、寄り添って聞くことが大切。
- ・齋藤委員：後輩を育てるにあたり、社長や上長の考えを自分にもしっかりと腹落ちさせる事が大切。言葉を伝える時に、より心を込めて伝えていく事で後輩にも伝わると感じる。

(3)教育活動

【評価項目】（評価＝適切：4、ほぼ適切：3、やや不適切：2、不適切：1）	評価
教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	4
目標の設定として、教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた教育機関としての修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	4
学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	3
キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	3
関連分野の企業・関係施設等、業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	4
関連分野における実践的な職業教育（産学連携によるインターンシップ、実技・実習等）が体系的に位置づけられているか	4
授業評価の実施・評価体制はあるか	4
職業に関する外部関係者からの評価を取り入れているか	4
成績評価・単位認定の基準は明確になっているか	4
資格（免許）取得の指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	4
人材育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保し、組織できているか	4
関連分野における業界等との連携において優れた教員（本務・兼務含め）の提供先を確保するなどマネジメントが行われているか	4
関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	4
職員の能力開発のための研修等が行われているか	4

① 課題

・担任メンバーの業界理解と現状の把握

② 今後の改善方策

・学生向けの合同企業説明会の実施及び合同説明会後に企業様と情報交換の場を設ける事で、現場で必要な力や業界理解を深める

・高校との連携を図るための高校訪問の実施・高校での授業を本校教員が担当することで、高校生の抱えている問題の把握に努める

③ 特記事項

・特になし

④ 学校関係者評価委員会コメント

・渡辺委員：学校が卒業生と繋がっていることも飲食業界の為には重要なことで、関東に出た学生も辞めてきた時に相談するのが学校であれば学校から業界とのマッチングではなく、店舗とのマッチングが違ったと伝えてあげられ

る。そうする事で、もう一度飲食業で頑張ろうと思えるのではないかな。

・齋藤委員：卒業生講話や就職ガイダンスなど、在校生が企業と関わる機会を持つことで、より企業を知ってもらう事ができる。

・松浦委員：インターンシップを通して、業界の事をより理解し就職につなげていきたい。

・加藤さん：1年生の冬に企業様へ実習に出させていただき、より業界を理解して帰ってくる事が出来た。現在就職活動中ですが、そのまま就職を希望する生徒もいた。

(4)学修成果

【評価項目】（評価＝適切：4、ほぼ適切：3、やや不適切：2、不適切：1）	評価
就職率の向上が図られているか	3
資格（免許）取得率の向上が図られているか	3
退学率の低減が図られているか	3
卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	4
卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	4

① 課題

- ・就職定着率の向上
- ・検定の合格率向上
- ・学生面談での不安の解消と保護者連携

② 今後の改善方策

- ・卒業生訪問の実施
- ・座学試験の為に検定対策授業や実技試験の為に技術動画の配信の実施の継続
- ・学生への面談希望ヒアリングやカウンセラーの周知

③ 特記事項

- ・特になし

④ 学校関係者評価委員会コメント

・佐々木さん：企業様ガイダンスを通して、教員もより企業様とつながる事ができた。教員自身もブラッシュアップしていく事で、生徒へのアドバイスや授業の組み立て方に工夫が出来てくる。

・加藤さん：卒業生の支援として、1階のカフェスペースを貸し出し、卒業生が販売会なども行っている。卒業後も繋がる事で、より企業様の情報が入り、在校生への刺激にもなる。

今後は卒業生講話なども取り入れたい。

(5) 学生支援

【評価項目】（評価＝適切：4、ほぼ適切：3、やや不適切：2、不適切：1）	評価
進路・就職に関する支援体制は整備されているか	3
学生相談に関する体制は整備されているか	4
学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか	4
学生の健康管理を担う組織体制はあるか	3
課外活動に対する支援体制は整備されているか	3
学生の生活環境への支援は行われているか	3
保護者と適切に連携しているか	3
卒業生への支援体制はあるか	4
中途退学者への支援体制はあるか	3
社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	3
高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	3

① 課題

- ・社会人に向けて必要な知識とマナー
- ・考える力の強化
- ・現場目線で考えた社会人として必要な力等の状況把握

② 今後の改善方策

- ・学びを選択し、自分に必要な環境を自分で選択する
- ・考える授業の展開（アクティブラーニング）
- ・学校行事から学生間のつながりを強め、学年を越えての交流する事で心的安全の強化をし退学防止につなげる

③ 特記事項

- ・特になし

④ 学校関係者評価委員会コメント

・齋藤委員：在校時に先生方が寄り添ってくれたことは、本当にありがたかった。新しい環境でみんなが不安になっている中、教員との関わりがあり安心して授業にも臨めた。また行事などでも任せていただけることが自分の成長にもつながり、今に繋がっている。卒業生講話でも呼んでいただいたが、卒業しても関わる事ができる環境は、ありがたいと感じる。

・千葉委員：自分に自信がついたのは、専門学校の際の経験が大きい。授業はデモンストレーションなどで聞いてはいたが、より考える事を取り入れてもよいと感じる。

(6)教育環境

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	4
学内外の実習施設,インターンシップ,海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	3
防災・安全管理に対する体制は整備されているか	3

① 課題

- ・防火に対する教員、学生の意識
- ・有給インターンシップにおける、参加促しの動機づけ

② 今後の改善方策

- ・防災訓練の担当を中心に、避難経路の確認や避難訓練の実施の継続
- ・企業連携を図り、企業の情報を学生へ共有する

③ 特記事項

- ・特になし

④ 学校関係者評価委員会コメント

- ・松浦委員：今後の若手の育成にも積極的に関わっていきたいと考えている。インターンシップにおいてもご依頼いただけたら、積極的に採用していきたい。
- ・佐藤さん：学校内の実習室はオープンキャンパスの裏で利用できるなど、施設や環境としては学びに繋がっていると感じる。

(7)学生を受入れ募集

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
学生募集活動は、適正に行われているか	4
学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	4
入学選考は、適性に行われているか	4
学納金は妥当なものとなっているか	4

① 課題

- ・本校の教育方針や特色を十分に理解している志の高い新入生の確保

② 今後の改善方策

- ・募集活動を通して、引き続き本校の方針・特色を伝える
- ・飲食業の魅力の発信
- ・東北6県で選ばれている学校の特徴を伝える

③ 特記事項

- ・特になし

④ 学校関係者評価委員会コメント

- ・渡辺委員:人口の減少は飲食業界の後継者不足にも関係しているが、仙台で飲食業をしたいと思ってもらえるような街作りをしていきたい。そのためにも、年長者の昔の考え方を見直し、働きやすい環境を整えていくことが大切。

(8)財務

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4
予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4
財務について会計監査が適正に行われているか	4
財務情報公開の体制整備はできているか	4

① 課題

【中長期計画】

なし

【予算・収支計画】

なし

【会計監査】

なし

【財務情報の公開】

なし

② 今後の改善方法

【中期計画】

今期は第3期中期計画(2023 年度～2027 年度)の2年目にあたり、中期計画及び進捗状況はホームページ上に公開している。

【財務情報の公開】

なし

③ 特記事項

第3期中期計画については、東京未来大学及び小田原短期大学の中計改定に加え、東京みらい中学校及び支援学校仙台みらい高等学園の内容を追加し、第3期中期経営計画(第2版)として改定する予定である。

④学校関係者評価委員会コメント

特になし

(9)法令等の遵守

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
関係法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4
個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4
自己評価の実施と問題点の改善に努めているか	4
自己評価結果を公開しているか	4

① 課題

・特になし

② 今後の改善方策

・特になし

③ 特記事項

・法令遵守の為に会議等で周知を定期的に行う

④ 学校関係者評価委員会コメント

・特になし

(10)社会貢献・地域貢献

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	4
生徒のボランティア活動を奨励、支援しているか	3
地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託等を積極的に実施しているか	3

① 課題

・地域の方々への学校を理解していただく為の施策が不足している

② 今後の改善方策

・親子クッキングや学内店舗実習の周知を行う

③ 特記事項

・1月に親子クッキングイベントを実施

④ 学校関係者評価委員会コメント

・佐々木さん：地域の方々にも学校を理解し、店舗実習などでは地域の方々に来ていただけるように、Instagram やチラシの作成をしている。

・加藤さん：親子クッキングイベントでは、毎年来たいという声ももらっています。在校生の誰かに喜んでもらいたいという気持ちもあり、2024 年度も大盛況だった。

(11)国際交流

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
留学生の受入れ・派遣について戦略を持って国際交流を行っているか	3
受入れ・派遣、在席管理等において適切な手続き等がとられているか	3
学習成果が国内外で評価される取組を行っているか	3
学内で適切な体制が整備されているか	3

① 課題

・留学生に対する受け入れ体制の強化

② 今後の改善方策

・留学生の就職先の確保

③ 特記事項

・特になし

④ 学校関係者評価委員会コメント

・佐々木さん: 今後は留学生も多くなってくることから、就職先の確保も必要になってくるのではないかと。
訪問などを強化して、ご理解していただけるようにしたい。

4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

- ・学校と企業との繋がりを強化し、飲食業界からの離職を防ぎたい。
- ・離職しない為の企業努力も必要だが、学生と企業とをつなぐための企業説明会の実施も必要となる。
- ・実際に社会人に求められる力を学校も理解しながら、実際の授業を通して学びを提供する事が大切。授業の中では、より考えさせる工夫が求められるため、教員のスキルアップも今後は更に必要となる。

【学校関係者評価委員会コメント】

・渡辺委員：飲食業からの離職については、関東などに出ていた学生も戻ってくることもあり、卒業生から相談があった際の学校の対応にも期待する。

企業側の凝り固まった考え方は改善していかないと、若い世代は離職してしまう。有給や残業なども改善していき、働きやすい環境を整える事も求められている。

・松浦委員：インターンシップなどを利用し、学生と企業のマッチングから離職を防ぎたい。ホテル業界も積極的に働く環境を整えている。

・千葉委員：コミュニケーションが苦手でも、引き出し方次第では伝えられる。学生時代はコミュニケーションを磨くチャンスでもある。

・齋藤委員：学生時代の失敗は働いてから役に立つ。1年生の知識を2年生で実践するなどして、自分の考え方が合っているのか試すための授業もいいのではないか。